Creative Enzymes®

ネイティブ微生物リポタンパク質リパーゼ

Cat. No. DIA-211

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明	リポタンパク質リパーゼ (LPL) (EC 3.1.1.34) は、膵リパーゼ、肝リパーゼ、内皮リパーゼを含むリパーゼ遺伝子ファミリーの一員です。これは水溶性の酵素で、キロミクロンや超低密度リポタンパク質 (VLDL) に見られるリポタンパク質中のトリグリセリドを加水分解し、2つの遊離脂肪酸と1つのモノアシルグリセロール分子に□換します。また、キロミクロン残渣、コレステロールが豊富なリポタンパク質、および遊離脂肪酸の細胞内取り込みを促進する役割も果たしています。
用途	この酵素は、L-α-グリセロリン酸オキシダーゼおよびグリセロールキナーゼと結合することで、血清中のトリグリセリドの酵素的測定に有用です。通常、反□はpH約7.0でテスト（3.0ml）あたり2.5□3.0単位の酵素を使用することで、37°Cで5分以内に完了します。
別名	リポタンパク質リパーゼ; LPL; EC 3.1.1.34; クリアリングファクターリパーゼ; ジアシルグリセロールリパーゼ; ジグリセリドリパーゼ

製品情報

由来	微生物
外□	淡褐色の非晶質粉末、凍結乾燥された
***EC*番号**	EC 3.1.1.34
***CAS*登□番号**	9004-02-8
活性	グレードⅢ　1.0U/mg-固体以上
混入物	フォスファターゼ 1.0×10⁻³% カタラーゼ 2.0×10⁻²% NADH オキシダーゼ 1.0×10⁻³% コレステロールオキシダーゼ 2.0×10⁻³%
***pH*安定性**	pH 5.5-10.0 (25°C, 20時間)
最適pH	8
熱安定性	40°C未□（pH 7.0、15分）
最適温度	40-45°C
阻害剤	Hg^{2+}, Cu^{2+}
安定化剤	Mg^{++}、牛血清アルブミン

保管・発送情報

安定性	-20°Cで保管してください